

# 花と木の実践養成教室

令和2年12月15日（火）

## 松竹梅の寄せ植え

### 松・竹・梅のいわれ

松・竹・梅の組み合わせは、中国の故事「歳寒三友」のいわれから始まったと言われています。

松竹梅という並びに優劣はなく、縁起が良いと考えられ始めた順、あるいは語感の良さで並んでいます。



松・・四季を通して葉が緑色であることから、長寿を表しています。

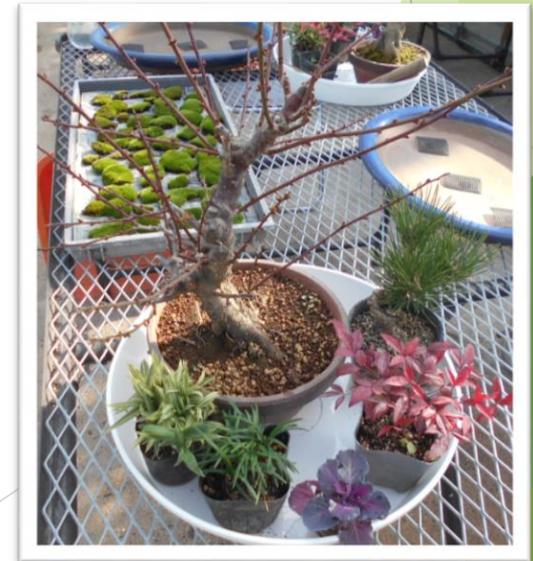


竹・・真っ直ぐに伸びる茎から節操（正しいと信ずる事を固く守って変えない事）を保ち、筍（たけのこ）は子孫繁栄を意味します。



梅・・枝の強さから気風を、香りからは雅やかさを更に百花に先駆けて、寒中に咲くその力強さを忍耐の例えとしています。

今回使用する植物は、松・笹・梅・南天・リュウノヒゲ・葉牡丹です。

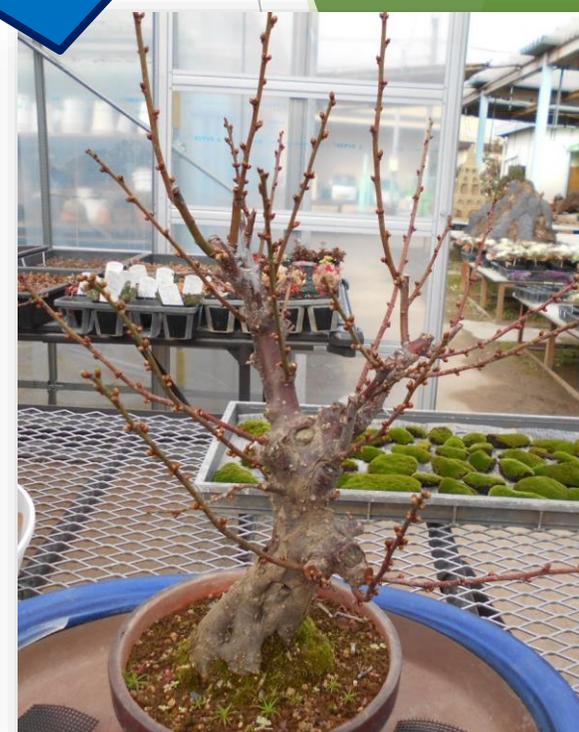
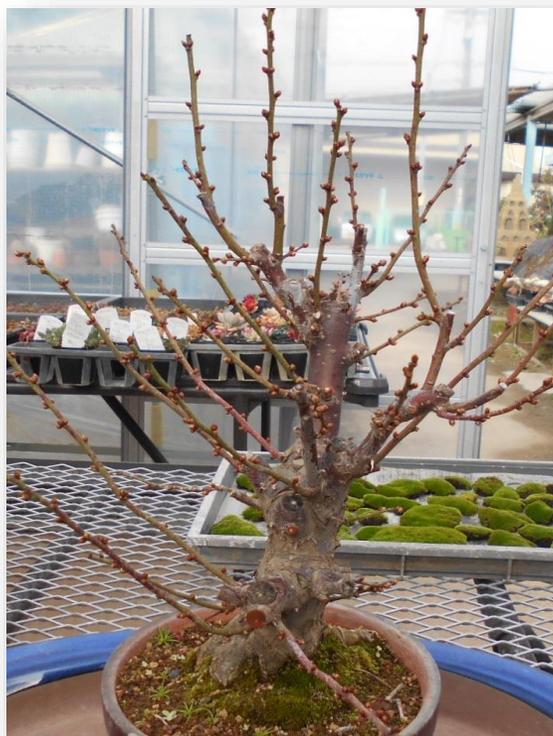


松・竹・梅を配置する場合は、図のように不等辺三角形になるようにします。また、石も同じく不等辺三角形になるようにします。



どの向きがいいでしょうか！

幹が力強く大きく見える方向が良いでしょう！



主となる梅の位置は、幹や枝ぶりの良い方向で、鉢の中心に置かないで前後・左右の割合が異なるように据えます。

梅の根鉢を崩し、植え付ける位置が決まれば石を配置します。この時、石も不等辺三角形になるようにします。また、苔を貼る場所と海や川をイメージする寒水石を敷く場所も決めておきます。





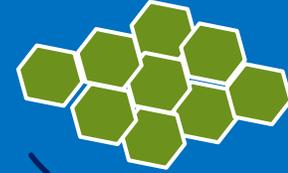
植える位置が決まれば、  
苔を貼ります。厚みのある  
苔は、少し土を削ります。

苔と苔の間を押さ  
えて安定させます。

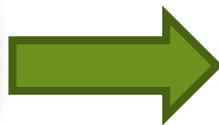


苔と苔は亀の甲羅のよう  
に3枚で合わせていきます。

こんな感じです！



寒水石を敷いて水辺を表現します。



# 自分だけの松竹梅が完成しました！

